

☆帝國主義國、後進國、「労働者國家」
三ブロック階級闘争を
世界プロ独一世界共産主義の勝利へ！
共産主義者同盟

9月18日
週刊
第40号
発行所 共産主義者同盟
一部 40円
定価 500円(年刊)

戦旗

戦旗社
東京 千代田区 本町二丁目 1457
電話 2-1457
大阪 中央区 本町二丁目 1457
電話 2-1457

●9・22/小西判勝利全閣議決起集会
(在野陣内)
●9・25/叛軍闘争勝利小西裁判闘争勝利
労働者総決起集会 (新治公署)
●9・27/「学連」拡大中央委員会 (東京)
●10・4/「学共」開会議第二回全盟大会 (東京)

全国に地区叛軍行動委員会を建設し 革命の正規軍を創出せよ！

- 叛軍入管闘争スローガン
- 帝國主義軍隊解体、革命の軍隊建設、叛軍行動委員会を地区(六閘)ソビエト型組織として建設せよ
- 三次防、四次防粉砕、日米共同軍事行動粉砕、自衛隊の治安出動訓練粉砕
- 安保粉砕、日米共同声明粉砕
- 沖繩、日米共同侵略前線基地化阻止
- 自衛隊の沖繩海外派兵阻止
- 米軍基地撤去
- 入管体制粉砕、入管法再上程阻止、日韓法的地位協定粉砕
- 小西叛軍裁判闘争勝利、全国基地闘争勝利

はじめに
「戦旗」は、戦後、日本に於ける革命運動の発展を期し、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。

9 19 防衛庁解体闘争に総結集し、ソビエト型組織の建設を更に進めよ

9 18 日本反帝前線中央総決起集会基調報告

「戦旗」は、戦後、日本に於ける革命運動の発展を期し、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。

世界一國同 時革命戦略論

「戦旗」は、戦後、日本に於ける革命運動の発展を期し、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。

Ⅲ 入管、叛軍 闘争の位置

「戦旗」は、戦後、日本に於ける革命運動の発展を期し、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。

Ⅳ 六〇年代型 武装の限界

「戦旗」は、戦後、日本に於ける革命運動の発展を期し、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。

Ⅵ 60年代型 諸党派の混乱

「戦旗」は、戦後、日本に於ける革命運動の発展を期し、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。本誌は、労働者階級の政治的意識を高め、革命の正規軍を創出することを目的として創刊された。

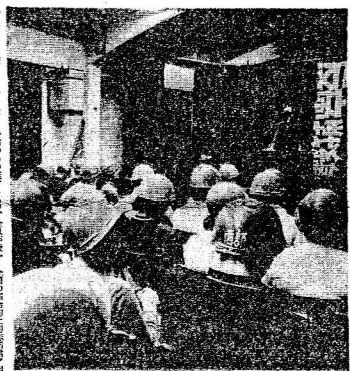
A 防衛庁全国七基地 I 19闘争へ地区叛軍行動委員会創出を F 攻撃闘争へ陣型強化

防衛庁一全国基地解体闘争に反帝戦線が進撃

【本紙記者東京二十日電】防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化する闘争が、各地で激化している。特に、首都圏では、反帝戦線の組織が、各地の反帝戦線を統一し、全国的な闘争を展開しようとしている。この闘争は、防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化するものである。各地の反帝戦線は、この闘争に積極的に参加し、全国的な闘争を展開しようとしている。

都/西部 百余名を結集し八・一四地区集会 AIF 首都19防衛庁へ

【本紙記者東京二十日電】西部防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化する闘争が、各地で激化している。特に、首都圏では、反帝戦線の組織が、各地の反帝戦線を統一し、全国的な闘争を展開しようとしている。この闘争は、防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化するものである。各地の反帝戦線は、この闘争に積極的に参加し、全国的な闘争を展開しようとしている。



中部 首都中樞に同盟旗 九一九へ政治的意志一致を

【本紙記者東京二十日電】中部防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化する闘争が、各地で激化している。特に、首都圏では、反帝戦線の組織が、各地の反帝戦線を統一し、全国的な闘争を展開しようとしている。この闘争は、防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化するものである。各地の反帝戦線は、この闘争に積極的に参加し、全国的な闘争を展開しようとしている。

都/北部 AIF八〇を結集し八・一六 19へ総決集会

【本紙記者東京二十日電】北部防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化する闘争が、各地で激化している。特に、首都圏では、反帝戦線の組織が、各地の反帝戦線を統一し、全国的な闘争を展開しようとしている。この闘争は、防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化するものである。各地の反帝戦線は、この闘争に積極的に参加し、全国的な闘争を展開しようとしている。

危機論型戦略の止場に向けて

マルクス革命論の本質論的解明を 基軸に七回大会の限界の克服へ！

【本紙記者東京二十日電】マルクス革命論の本質論的解明を基軸に七回大会の限界の克服へ！この闘争は、防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化するものである。各地の反帝戦線は、この闘争に積極的に参加し、全国的な闘争を展開しようとしている。

神奈川 首都結集—防衛庁 へ進撃

【本紙記者東京二十日電】神奈川防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化する闘争が、各地で激化している。特に、首都圏では、反帝戦線の組織が、各地の反帝戦線を統一し、全国的な闘争を展開しようとしている。この闘争は、防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化するものである。各地の反帝戦線は、この闘争に積極的に参加し、全国的な闘争を展開しようとしている。

政治警察との組織戦 に克ち抜き進撃を

【本紙記者東京二十日電】政治警察との組織戦に克ち抜き進撃を。この闘争は、防衛庁の全国七基地を解体し、反帝戦線を強化するものである。各地の反帝戦線は、この闘争に積極的に参加し、全国的な闘争を展開しようとしている。

【60年代戦争の終えんと党派闘争】

「60年代戦争の終えんと党派闘争」は、戦後日本政治の歴史を振り返り、現在の政治状況を分析する。戦後、日本は民主主義の道を進み、経済的繁栄を遂げた。しかし、政治的には、戦前からの政治体制の残滓が残り、党派闘争が激化している。この闘争は、国家の発展と国民の利益を損なっている。戦後、日本は民主主義の道を進み、経済的繁栄を遂げた。しかし、政治的には、戦前からの政治体制の残滓が残り、党派闘争が激化している。この闘争は、国家の発展と国民の利益を損なっている。

【第二次ポイントの止揚とは何か】

「第二次ポイントの止揚とは何か」は、戦後日本政治の歴史を振り返り、現在の政治状況を分析する。戦後、日本は民主主義の道を進み、経済的繁栄を遂げた。しかし、政治的には、戦前からの政治体制の残滓が残り、党派闘争が激化している。この闘争は、国家の発展と国民の利益を損なっている。

【陣中構築と叛旗派の解体の推進】

「陣中構築と叛旗派の解体の推進」は、戦後日本政治の歴史を振り返り、現在の政治状況を分析する。戦後、日本は民主主義の道を進み、経済的繁栄を遂げた。しかし、政治的には、戦前からの政治体制の残滓が残り、党派闘争が激化している。この闘争は、国家の発展と国民の利益を損なっている。

【叛旗派最後の砦を解体し 軍事を孕む党建設へ進撃せよ】

「叛旗派最後の砦を解体し 軍事を孕む党建設へ進撃せよ」は、戦後日本政治の歴史を振り返り、現在の政治状況を分析する。戦後、日本は民主主義の道を進み、経済的繁栄を遂げた。しかし、政治的には、戦前からの政治体制の残滓が残り、党派闘争が激化している。この闘争は、国家の発展と国民の利益を損なっている。



井へん軍団部隊を解散する（6、高野浩吉）

【沖繩9・10】

「沖繩9・10」は、沖繩の戦況や政治状況を分析する。沖繩は戦後、米軍の占領下にあり、その政治体制は米軍によって決定されている。しかし、沖繩の住民は、米軍の占領に不満を抱き、独立運動や自治運動を行っている。この運動は、沖繩の未来を決定する重要な要素となっている。

【神戸9・10】

「神戸9・10」は、神戸の戦況や政治状況を分析する。神戸は戦後、米軍の占領下にあり、その政治体制は米軍によって決定されている。しかし、神戸の住民は、米軍の占領に不満を抱き、独立運動や自治運動を行っている。この運動は、神戸の未来を決定する重要な要素となっている。

【米領事館ヘデモ】

「米領事館ヘデモ」は、米領事館の前でデモが行われたことを報告する。デモは、米軍の占領に反対する人々によって行われ、米領事館の前で集まり、抗議の声を上げた。このデモは、米領事館の前で集まり、抗議の声を上げた。

闘争と弁護

特集・監獄法の今日の問題点
未決勾留について 古瀬龍介
代用監獄について 久保田康史
東京拘置所新聞 記事削除事件訴訟 近藤勝
被告人と一般人との接見 古瀬龍介
懲罰に対する闘争 川端和治
公判ノート発行問題に関する 獄中からの報告
懲罰に関する部内関係資料
監獄法（抜粋）
米軍軍用輸送列車阻止闘争
無罪判決について・奥津直
判決文
10.11月闘争公判関係資料(二)
闘争と弁護刊行会
電話 5553 5 8 5 8

ぼるしびき通信

新装タイプ版 第5号
破防法特集
1部 100円(月二回刊行)
共産主義青年同盟対策委員会

日本帝国主義の現段階

宇野浩二による日本帝国主義の現段階
鎌倉孝夫著
あからさまな帝国主義政策を展開する日帝の構造と矛盾を、最新データによって徹底分析する。
四六版上装 四二〇頁 七五〇円
大内秀明著
宇野浩二・鎌倉孝夫の現状分析、国家独占資本主義下の高度成長期「カミ」とその矛盾を徹底的に解剖。
四六版上装 三八四頁 七〇〇円
現代評論社
東・中央・京橋3〜11

